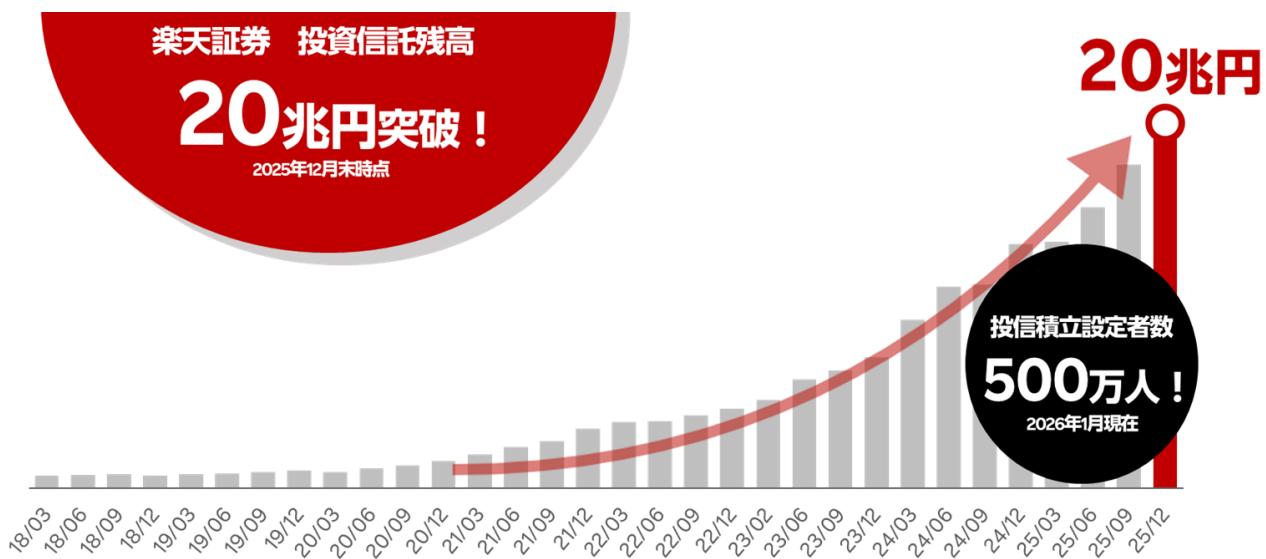


楽天証券、投資信託残高 20兆円、投信積立設定者 500万人突破のお知らせ - 残高は約1年7カ月で2倍に増加！ -

楽天証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：楠 雄治、以下「楽天証券」）は、2025年12月末に、投資信託残高^{*1}が、20兆円を突破したことをお知らせします。2024年5月に10兆円を突破してから、約1年7カ月で倍増となりました。また、2026年1月に、投資信託の積立設定者数が、500万人超になったことを、あわせてお知らせします。



楽天証券は、お客様がより充実した資産づくり・投資活動をはじめやすい環境を提供するべく、各種サービス拡充に努めています。特に、投資信託においては、1999年に取扱いを開始して以来、投資初心者の方や若年層の方など、これまで投資に親しみのなかったあらゆるお客様にも、投資信託を活用した資産づくりを“はじめる・つづける”をしていただけるよう、「楽天ポイント」を使った投資信託購入（「ポイント投資」）や「楽天カード」クレジット決済など、お客様の日常生活の一部として資産づくりを取り入れられる環境を、業界に先駆けて^{*2}提供しています。

また、日本銀行がマイナス金利政策解除を決定して以降、証券総合口座数国内証券会社単体（開示ベース）で最多^{*3}、NISA 口座数業界 No.1^{*4}をほこる楽天証券は、いち早く、お客様が保有する資産を有効活用できるサービスとして、安全性を重視し、流動性に優れた投資信託、MRF（マネー・リザーブ・ファンド）の「楽天・マネーファンド」を提供するほか、楽天投信投資顧問株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：東 真之）と協働し、「楽天・プラス」シリーズや「楽天・高配当株式」シリーズなど、お客様の目的やニーズにあわせた多様な商品ラインアップに力を入れるなど、お客様の資産づくりの選択肢を増やしてきました。さらに、お客様ご自身の学びたいというご要望にお応えするべく、「資産づくりカレッジ」などの多彩なセミナーを開催するほか、2025年は、第9回「楽天証券ファンアワード」を開催し、お客様に次の投資先を選ぶヒントやきっかけを提供することができたと考えています。

これらの取組みや新NISAが追い風となり、このたび、楽天証券の投資信託残高^{※1}は、2024年5月に10兆円を突破してから、約1年7カ月で倍増となる20兆円を、2026年1月には、投資信託の積立設定者数が、500万人を突破しました。

現在、楽天証券では、2026年の新たな年に、投資をはじめたいと考えているお客様のために、300万ポイント山分けキャンペーンを実施中です。対象商品は、投資信託に加え、国内株式（現物）、米国株式（現物）で、楽天証券ではじめて購入（約定）したお客様全員が対象になります。

楽天証券は、「資産づくりの伴走者」としてお客様のFinancial Well-Beingを最大化するべく、これら資産づくり・投資を「はじめる」きっかけだけでなく、「つづける」環境の提供を通じて、あらゆるお客様のニーズにお応えし、お客様に「永く付き合いたい証券会社」として選んでいただけるよう努めてまいります。

■ 「2026年こそ！投資を始めるなら、今がチャンス！」

はじめてのお取引で300万ポイント山分けキャンペーン 概要



内容	本キャンペーンの条件を満たしたお客様全員で、300万ポイントを山分けして進呈
エントリーパート	2025年12月29日（月）～2026年3月31日（火）23時59分
キャンペーン期間	2025年12月29日（月）～2026年3月31日（火）国内約定分
対象者	2025年12月28日（日）までに、楽天証券で対象商品の取引をしたことがないお客様
対象商品	投資信託（通常購入・積立）、国内株式（現物）、米国株式（現物） *「かぶミニ®（単元未満株取引）」、「かぶツミ®（国内株式積立）」、「かぶピタッ®」、「米株積立」も含む *「楽ラップ」、「楽天・マネーファンド」、外貨建てMMF、分配金再投資による投資信託の購入は対象外
対象口座	一般口座、特定口座、NISA口座

特典内容	条件達成者全員で 300 万ポイントを山分け *1 人あたりの進呈上限：200 ポイント
特典進呈時期	2026 年 4 月下旬予定
URL	https://r10.to/hYLuTW

(注) キャンペーンの内容は、事前の予告なく変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

そのほか、キャンペーンの条件やご注意事項などの詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

※1：国内外 ETF を除く、外貨建て MMF、RMF を含む

※2：主要ネット証券（口座数上位 5 位：SBI 証券、松井証券、マネックス証券、三菱 UFJ e スマート証券、楽天証券（五十音順））で比較（2026 年 1 月 9 日現在、楽天証券調べ）

※3：各社ウェブサイト上での開示情報により、楽天証券にて集計。SBI 証券は単独口座数非開示のため 2021 年 3 月末時点の口座数、野村證券および大和証券は残あり顧客口座数、SMBC 日興証券は総合口座数

※4：金融庁「NISA 口座の利用状況調査（令和 7 年 6 月末時点）」および各社ウェブサイト上での開示情報により、楽天証券にて集計

以 上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社 （[楽天証券ウェブサイト](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 195 号、商品先物取引業者

確定拠出年金運営管理機関登録票：確定拠出年金運営管理業 登録番号 774

貸金業登録番号：東京都知事（1）32007 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

日本貸金業協会会員 第 006365 号